おばさんのディスクール

金井美恵子

おばさんのディスクール

金井美恵子

筑摩書房

おばさんのディスクール

一九八四年十月二十五日　初版第一刷発行

著　者――金井美恵子
発行者――布川角左衛門
印　刷――多田印刷
製　本――永興舎
発行所――筑摩書房
住所　東京都千代田区神田小川町二―八　〒一〇一―九一
振替　東京六―四一二三
電話　〇三―二九一―七六五一（営業）
〇三―二九四―六七一一（編集）
0095-82185-4604
© Mieko Kanai 1984　Printed in Japan

乱丁・落丁本の場合は、御面倒ですが、小社読者係宛に御送付下さい。送料小社負担にてお取り替えいたします。

序　おばさんのディスクールからの自由

エッセイ集としては私にとって七冊目のこの本のタイトルが『おばさんのディスクール』というものになってしまった理由については、ただ、それがなんとなく言葉のひびきにおいて、面白そうだったからだと言う以外にないはずなのだが、心外というか当然のことと言うべきか、〈おばさん〉と筆者を同一視する傾向が、このタイトルを耳にしたり眼にしたりする人たちのなかに、多いようなのである。

私はこの〈おばさん〉という多義的な言葉（おばさんという言葉だけがそうであるというわけではないが）を、一人称的に使う趣味は持ちあわせていないし、そう呼ばれることを好きなわけでもないのだが、まあ、そう呼びたい者には呼ばせておくことにしよう。本書に収められた短いエッセイ「おばさんのディスクール」を書いた時、「おばさん」とい

う言葉で考えていたのは、性別を問わずに「おばさん」的なるものの存在でもあったのだが、しかし、それにしてもなお、肯定的なものであれ否定的なものであれ、いわゆる女性的なるものについて語られる言説についての苛立たしさがあったのは確かだ。

といって、女性論などというものを書くのは、まっぴらであるばかりか、実のところ、読むのさえ、大して好きとはいえない。

女性論という、どう考えても陰気な、読む者の気を重くさせるテーマから距離をとるためにはどうしたらいいか。もちろん、読まない書かない、ようするに、そんなものは一切無視してしまえばいいわけであり、たとえば、文章を書く時に、書き手の性的自己同一性などというものは、大して意味がないという立場を、それが成功するかしないかは別として強引に、とにかくとってしまうことも、不可能というわけではないだろう。

そして、多分、そうした文章は、〈おばさんのディスクール〉からは、かぎりなく離れるはずなのだが、それと同時に、いわば文章行為の〈不在の中心〉と言うべき〈中性的な場所〉を遠く迂回して、〈おばさんのディスクール〉と、ちょうど性交時の性器のようにぴったりと重なりあっている、いわば男根的な〈おじさんのディスクール〉へと移行してしまう、ということにはならない、と信じなければならない。

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

たとえば、誰もそれを否定することは出来ないのだが、妊娠・出産という女の特権を高らかに誇示するディスクールがある。それは何も、妊娠・出産は「女々しいなどということばが取り入る余地もない」ほどに「厳しく光を放っている」といった類いの比較的ストレートなものであるばかりではなく、出産が重症の便秘からの心地良い回復という、いわば肛門期的なメタファーとして語られる場合でも、それが誇示されているという意味では同じなのである。

肛門期的メタファーで語られる出産は——そう語る女性は、実際問題として実に多いのだが——たいていの経産婦以外の者を驚かせるか笑わせる。それは、直腸に溜っていて排泄されたとたんに汚物となる大便と、胎児として子宮にいて産み出されたとたんに新生児となる赤ン坊を同一視というか、似ていると語る肉体的感覚に怖れを抱くからに決っているのだが、こうした大便＝胎児的ディスクール——それは確かに、母性神話にちょっとばかり打撃をあたえるかもしれないという意味で、ある爽快感を感じさせなくもないのだが——は、やがて具体的な育児の体験によって乗りこえられてしまうだろう。

それから、〈おばさんのディスクール〉ははじまる。多分、大便でもあったはずの胎児から、大便性がふり落され、胎児は赤ン坊になり、子供になる。すると、おばさんたちは、肛門期的粗雑さを忘れてしまうらしいのだ。

排泄＝出産という、いわば無差別的な、そう、歴史感覚を持たない、身体感覚として語

られたものは、ふいに、歴史へと移行する。子供を産む、ということが、排泄＝出産として語られる時には、それに先だつ性交も含めて、おそらく、そこには、一瞬のことだが、感動的な〈誕生のドラマ〉と呼ばれている物語からまぬがれた肉体的時間があったはずなのだが、そして、むろん、言うまでもないことだが、そうした、いわば、性による自己同一性からまぬがれて言葉を発する（あるいは書く）という体験は、他にもいくらでもあるはずなのだが、〈おばさんのディスクール〉と、その対的な存在として形成される〈おじさんのディスクール〉というものは、どういうわけか、言葉の中性的な場所や不在の中心というものをけぎらいするもののようである。

出産というメタファーを使ってしまったので、ついで書いておくと、出産を回避するための避妊というものがあり、その一つの方法であるフィルム状避妊薬の危険性について婦人雑誌で女医が報告をした文章がある。

それは、合成洗剤の主成分と同じ非イオン系界面活性剤N-9を主成分とした薬で、催奇性や発ガン性を疑う論文がアメリカで出されており、執筆者の女医の研究室でも実験がおこなわれ、精液の中に非イオン系界面活性剤N-9を注入した実験では、あっという間に次々と精虫が死んで行くのが確かめられた、という記述があり、それに続けて、一緒に実験をしていた男性研究員が、怖い、といって股をおさえたほどだった、と書かれている。

薬が両性のどちらの身体に影響をおよぼすのか、いうまでもないことである。どうやら、この男性研究員のしぐさが、私には〈おじさんのディスクール〉というものに思われる。界面活性剤は、女性の体内で作用するにもかかわらず、殺される精虫の放出もとであった睾丸と男根を押えるという自意識過剰、すなわち、自己というものへのファンタスム。

多分、実験室での笑いを誘ったのかもしれない幼稚なしぐさが、いささか、乱暴に言えば主体というものであり、自己同一性ということなのかもしれないのだし、それと倒立したかたちで対をなしているのが、子供は産んだ母親のものであって、極端に言えば父親は誰でもいい（あるいは誰だかわかったものではない）という、両性ともに口にするいいぐさなのかもしれない。

〈おばさんのディスクール〉も〈おじさんのディスクール〉も、ともに、睾丸・男根と女陰・子宮との間の距離を、決定的に自分の身体にそなわっているものに、決定的にひきつけ、ひきもどそうとする。そして、その、ひきつけ、ひきもどすしぐさが、大便でもあり得た新生児をまったく別のものに、すなわち、自分の産んだ子供に変え、女の歴史という物語を、語りはじめることを要請するらしいのだ。〈おばさんのディスクール〉とは、すなわち、女性史のことであり、女の立場や女の自立や女の主体性や女の自由、女の社会的地位、女の価値観といった諸々のものを常に、男との比較で、たとえば男性社会、男性的価値観という言葉を使いながら語る言葉のことだ。

たとえば、ある女の小説家の、男の側からのセックス描写は広範囲にあるが、女の側からのセックス観というのは、言葉もつかめていない段階で、まだ、これからだ、というような発言を読む時、それが男によって書かれるか女によって書かれるかなどということは関係ないことだ、と私は思ってしまうのだ。《私》というものが融解する《不在の中心》として性行為というものがあるのであれば——。

目次

序　おばさんのディスクールからの自由

I　おばさんのディスクール

おばさんのディスクール　4
〈女〉と〈自然〉　9
常識　14
鉄球とヘリコプター　19
男のロマン　24
雑多な苦　29

II　文学と収穫

文学と収穫　36
退屈しのぎのための小説　38

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

幼稚な読者　43
《原風景》？　46
《私》は誰でしょう　49
しなければよかったこと　52
読んだから書く　57
言葉・現実・肉体　62

Ⅲ

猫のような…

魅惑の谷崎源氏　70
猫のような…　75
魅惑された土地――ケネス・グレーアム　83
映画と戯れる――マヌエル・プイグ『蜘蛛女のキス』　90
《ラテンアメリカ文学》を《読む》　95

美わしき断片――ジャン＝リュック・ゴダール『パッション』 99
〈呆然自失〉の風景――渡辺兼人「類と類型」 103
『書くことのはじまりにむかって』について 108
『映画、柔らかい肌』について 113

Ⅳ

《性》についての《断片》

《小説》についての言葉 120
フィクションとして 130
〈環境〉としてのテレビ 137
アイドルはどこへ、あるいは、
ショーケンはマイウェイを歌わない、だろうか？ 147
《性》についての《断片》 158
《断片》《性交》《引用》《肉体》《犬に噛まれる》《ヴァギナ》と《クリトリス》《婦人科》《官能》

逸脱と排除のエロティシズム
——バルテュス、ヴェルメール、コーネルをめぐって　168
《街路》のディアーナとアクタイオーン　179

V

おばさんのディスクール・断章

おばさんのディスクール・断章　188
未知の書き手　ゲームの規則　性的描写　続・ゲームの規則　続々・ゲームの規則　魅惑する女　魅惑される　男性・女性　おばさんのディスクール・断想　擬似マウンティング　欲しき無知　文章行為
初出一覧　203

装幀　金井久美子

おばさんのディスクール

I

おばさんのディスクール

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com